

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)
(公 印 省 略)

営農情報 6

ウンカの飛来状況 2

トビロウンカの飛来が、平年に比べて非常に早く、5月10日に確認されています。

今後、梅雨期の降雨により、飛来も多くなる可能性がありますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

トビロウンカの飛来状況

福岡県病害虫防除所が調査する県内の予察灯において、5月10～18日の期間と6月8日に飛来を確認しています。

九州各県においてもトビロウンカの飛来を佐賀県で5月11日、宮崎県で5月12日、長崎県で6月3日に確認しています。

また、日本への主な飛来源である中国南部でのウンカ類の発生は昨年より少ないものの、ウンカ類全体に占めるトビロウンカの割合が高い状況で、今後の飛来に注意が必要です。

対 策

梅雨入りも早いことから、**昨年同様に飛来回数、その後の増殖が多くなる懸念されます**ので、下記の対策を徹底してください。

(1) 本田防除

- ・早期水稻や極早生「夢つくし」でも発生が多い場合は、出穂前に必ず防除実施
(特に、箱施薬剤にゼクサロン剤混合のもの以外を使用している場合は、発生状況に注意し、早めの防除を心掛けてください。)

<出穂期の目安>

*早期水稻「コシヒカリ」：7月13日頃（移植期4月20日前後）

*普通期水稻「夢つくし」：8月10日頃（ 〃 6月10～15日前後）

- ・ウンカ類への防除効果を高めるため、湛水状態で薬剤が株元に到達するように、丁寧に散布する。
- ・防除器具がない場合は、粒剤処理で対応する。

(2) その他、注意すべき点

- ・多肥栽培は避ける。
- ・**今後のウンカ類の飛来情報を確認しつつ、出穂前までにほ場を観察し、早期発見、早期防除に努めましょう。**